

Little Cloud

12

Atsushi Murasaki Presents
I remember ...

Sister Princess Only FanBook
but chiefly I remember all your faces

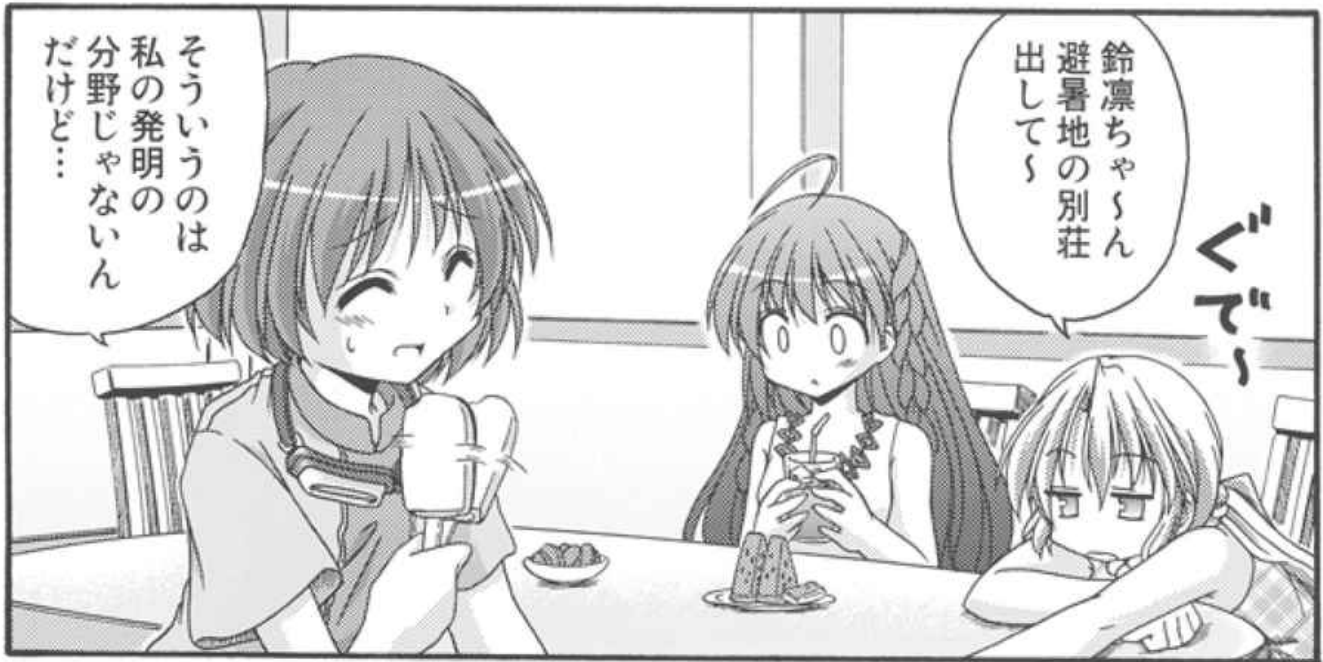
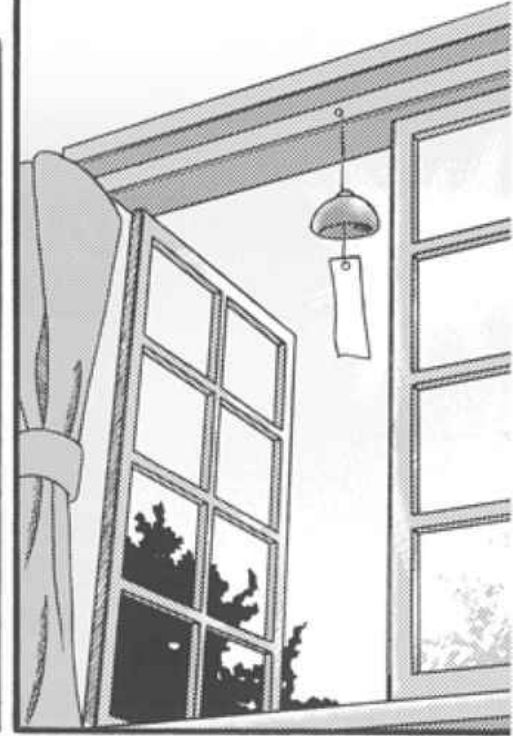




どこか
涼しいところに
お出掛けしたいね

今日も
暑いわね

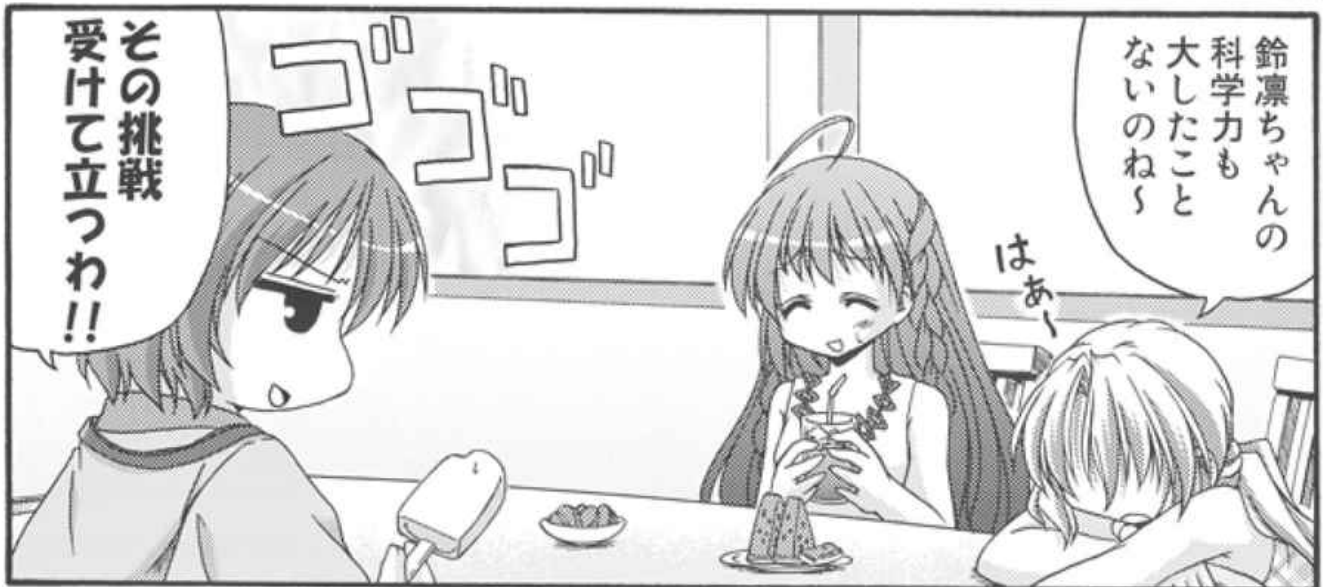
カカウ



そういうのは
私の発明の
分野じゃないん
だけど:

鈴凜ちゃん
避暑地の別荘
出して

ぐで



その挑戦
受けて立つわ!!

鈴凜ちゃんの
科学力も
大したこと
ないのね

はあ

ゴゴゴ

INTRODUCTION

どうも 紫あつしです。
シスプリで12冊目、とうとう妹と同じ数まで来ました。
いやあ、まさかここまで来るとは自分でも
ちょっと驚いてます。(笑)
これも私のシスプリ本を楽しみにしてくださる方々の
応援の賜物です。
本当に有難うございます!

さて。
本当は夏に出すはずの本だったので
お話も夏真っ只中です。
今まで振り返ると季節通りに出た本の方
が少ない気がしてますので季節は
あまり気にしないで読んで頂けると幸いです。(笑)

いつもは妹達の出番がなるべく均等に
なるように心掛けていたのですが、
今回は割と鈴凜がメインになってます。
そのため、今回は出番が少なくな
ってしまった春歌には
ごめんなさいということでここに。(´^`);





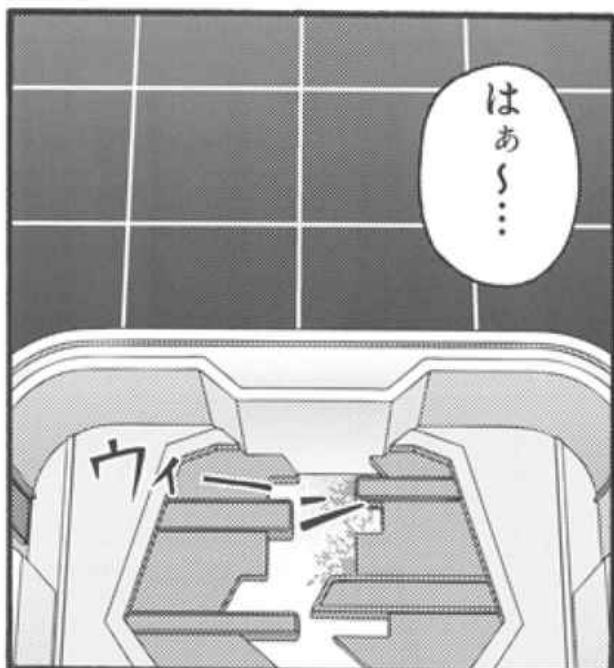
ご要望の
別荘が完成した
わよ

咲耶ちゃん…



私の苦労って
何もかも
無駄なの？

どこかいの所の
予約取れたの？









うわあ〜♡

すご〜い!
本物の川だよ!



この空間の
中でなら何でも
作り出すことが
出来るのよ♪

何でも?
それなら例えば



はにかんで
笑うカワイイ
千影ちゃんとか

もっちゃん
♡♡♡



……澄んだ瞳の
咲耶ちゃん……
……とかね……

すす

イヤな空気を
作り出して
しまったわ
……



よおしっ!
さっそく
泳ぐぞろ!!

だあー

あにいも一緒に
泳ごうよ!



衛ちゃん
とても生き生きと
してますわね♡

早く!!

僕はあとで
いいから
ロッジで着替えて
おいで



もう
着てきた
から!!

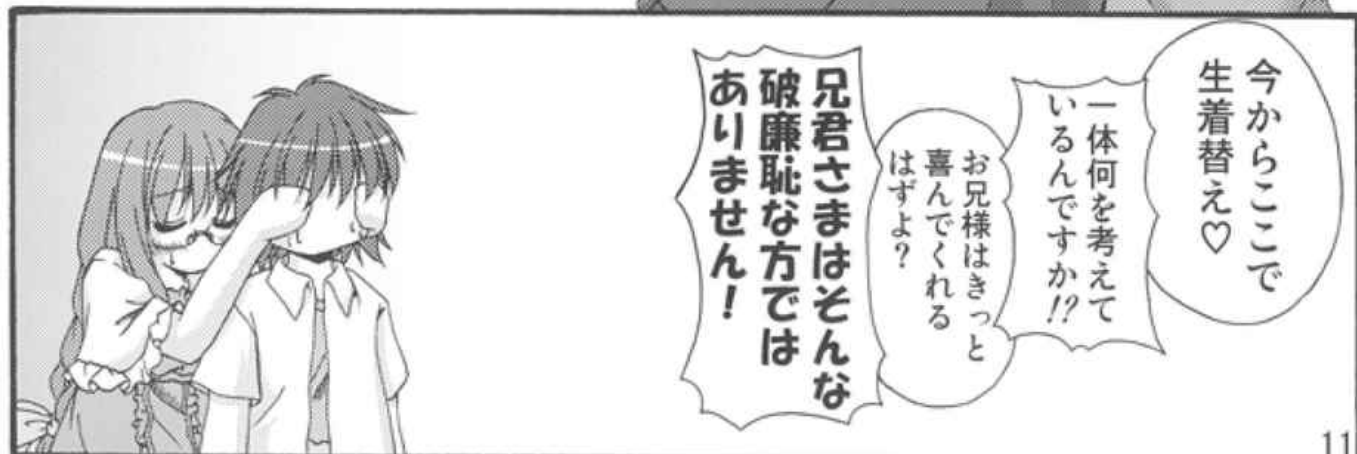
ずる

あの…衛ちゃん
下が水着でも
いきなり
脱ぐのはちょっと
…

びんくり…



大丈夫♡







白雪ちゃんは
着替えて
こないの？

姫は泳げないから
水際で十分
ですの♪



……！



——でも川って
急に深くなるん
デスね？

そうだね〜



ぷく ぷく

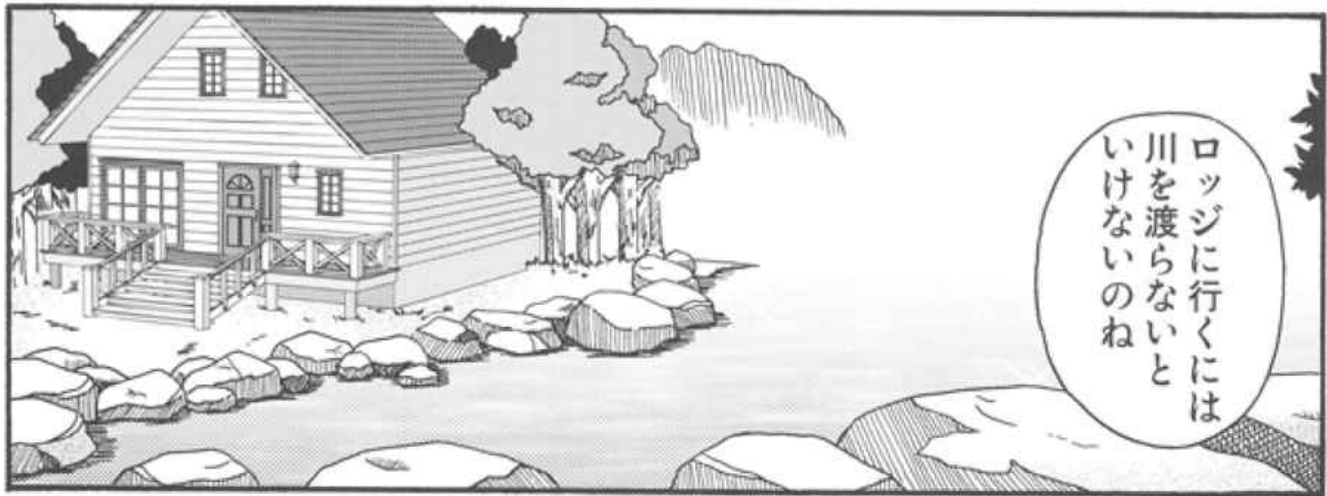


……姫
やっぱり
着替えて
きますの……



可憐たちも
着替えて
きましよう♡

川で泳ぐのって
すごく楽しそう
だよね♪



ロッジに行くには
川を渡らないと
いけないのね



えっ？

ずる



足元は
滑りやすいから
気を付けてね

大丈夫
大丈夫
——



あ

サッパ











鞠絵ちゃんは
みんなと遊んでいて
良かったんですのよ？

お料理の準備は
一人では
大変ですし

あまり冷たい水に
入っていると心臓が
止まっちゃい
ますから！



…あ〜…
どうか
お大事に…
…ですの

…えっと

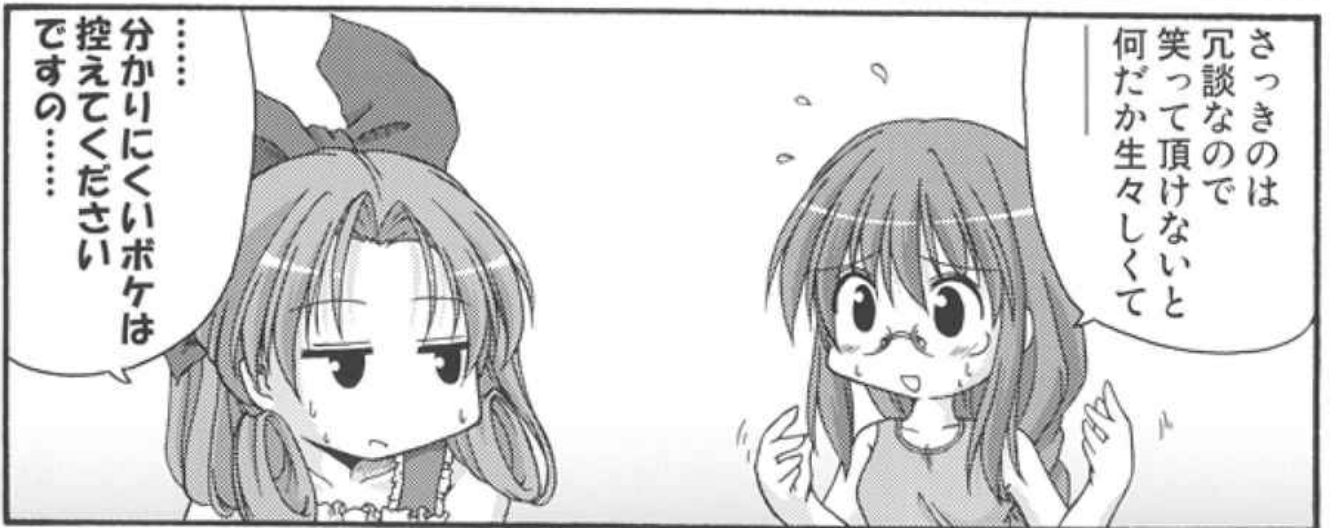
あの…
白雪ちゃん？

あはは…



さっきのは
冗談なので
笑って頂けないと
何だか生々しくて

…
…
…
分りにくいポケは
控えてください
ですの…

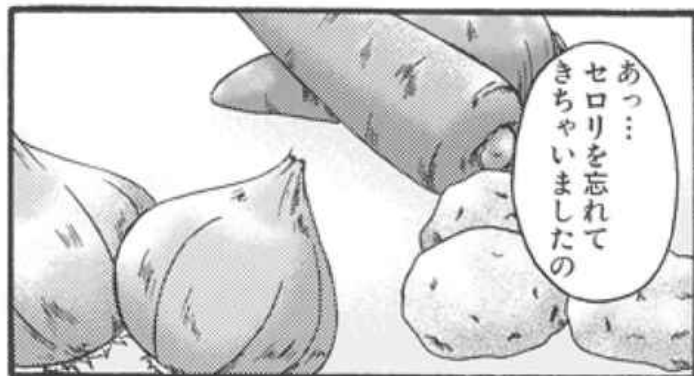




ダッチオーブンで
お料理なんですね



煮る焼く蒸す
何でも出来るなんて
まるで魔法のお鍋
ですの〜♡



あっ…
セロリを忘れて
きちゃいましたの



コンピュータ！
ローストチキンを
出して！

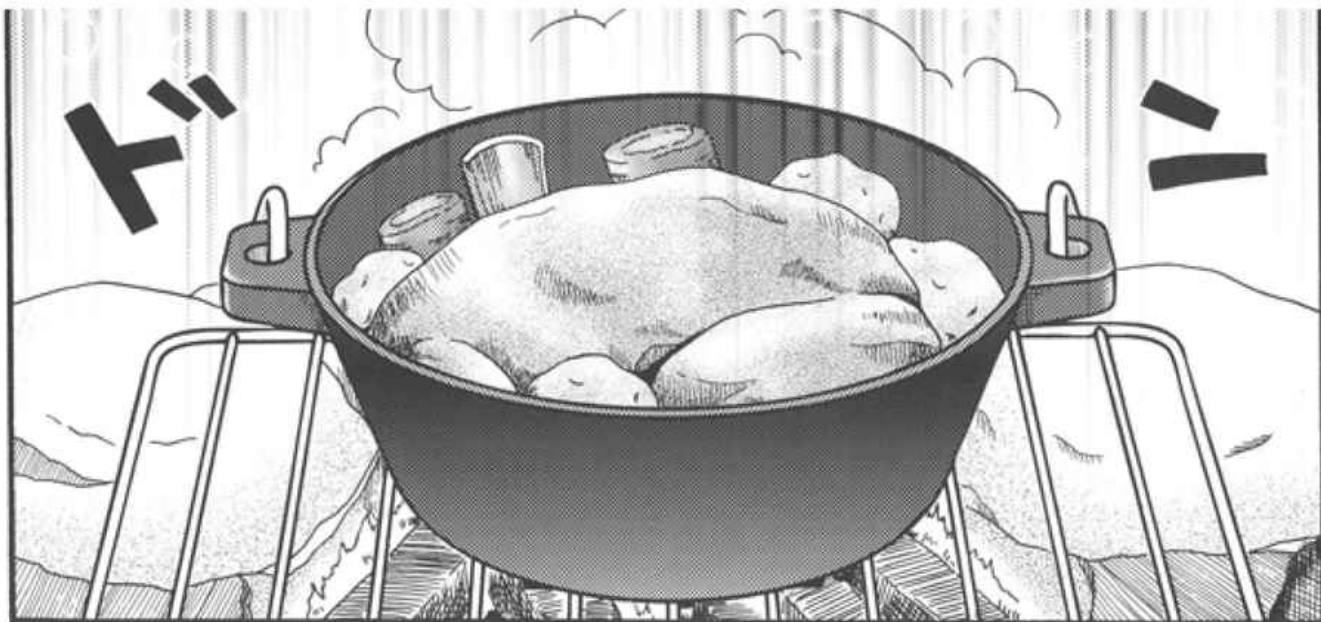
—だったら！



ローストチキンの
材料を忘れて
きちゃったので
ちよっと取っ
てきますの



どうかしたの？



あの……
鈴凜ちゃん
鈴凜ちゃん……

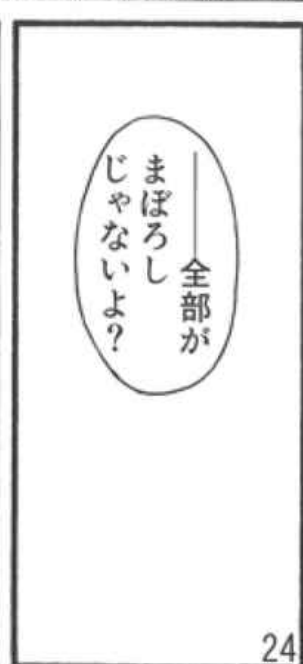
——とまあ
あつという間に
出来上がりよ♡



コンピューター！
今の命令を
取り消し
大至急で！

姫の……
ダッチオーブンの
出番が……出番……

ニクウウ





もうっ!
二人とも
カワイイこと
言っちゃって〜!

ギュー



う



現実には存在しない
なんて――

何だか私の
魂みたい
ですね♡



今度は
さっきのより
面白く
ないですか?

姫 お料理
以外のことは
ちよっと……

この空気は
まぼろしじゃ
ないのね……

?



あれ？
鈴凜ちゃん
起きちゃった？

ん……あれ……？
私寝ちゃったの
……



うん……



わっ!!
アニキの
膝の上!!
か! あっ

!!!



ここを作るのに
ずっと徹夜で
疲れてる
でしょ？

まだ休んでて
いいんだよ？

もう大丈夫!

これ以上は
照れ死んじやい
そうだから!



今のうちに
みんなとの思い出を
たくさん
作っておきたいし…

それに私
アメリカに留学
したいと思ってる
から



ギ
ゅっ

何より—



だから—
もっとアニキの
近くに



寝てたらアニキとの
思い出作る時間も
減っちゃうじゃない

POSTSCRIPT

今回のお話の肝と言いますか、ホログラムシステムはスタートレックではおなじみのものです。言ってしまうと24世紀のテクノロジーを鈴凜が作ってしまったことになるのですが、まあ気にしないでください。(笑) 今年スタートレック40周年だったので何かネタをと思ってちょっと入れてみたんですが…この本が出るのが今年最後の日なんですよ。(笑)

さて。妹達の中で鈴凜は将来やりたいことが明確にあって留学も考えているところが他の妹達とはちょっと違うポジションな感じがしてます。だから割としっかりしてるイメージがあって鈴凜は非常にお話を作りやすかったです。今までの本でも鈴凜は結構出番があった気がしてます。しっかり者で描いてたので、ポケでポケでポケ倒す咲耶と組ませることが多かったです。(笑) 表紙も「9」に続いてまた鈴凜と咲耶になったときはちょっと「しまった!」と思ったのですが。(笑)

シスプリの妹達の魅力は尽きないのでまだ描いてないお話とかもあるのですが、ひとまずこのシリーズはおしまいです。長い間応援をして頂きまして本当に有難うございました!

おくづけ

最終巻らしいお話にしようかとも思ったんですが、妹達の日常はきっとこれからも続いていくので敢えていつも通りのお話で。

この続きは皆さんの中に。

それではまた機会がありましたらお会いしましょう!

-Little Cloud 12-

発行/ひつまぶしパラダイス(紫あつし)
 印刷/株式会社プロス
 発行日/2006年12月31日

URL / <http://home9.highway.ne.jp/murasaki/>
 e-mail / p_town@hte.highway.ne.jp





Little Cloud | 12
Atsushi Murasaki Presents Sister Princess Only Fanbook
I remember... but chiefly I remember all your faces